



44 パラグアイ

# アスンシオン上水道整備事業

## 増加する首都アスンシオンの水需要に対応し、住民の生活環境改善に貢献

承諾額／実行額	60億6,800万円／55億900万円
借款契約調印	1995年9月
借款契約条件	金利3.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイド
貸付完了	2002年3月
実施機関	パラグアイ衛生サービス株式会社 URL: <a href="http://www.leyes.com.py">http://www.leyes.com.py</a>



### 本事業の目的

アスンシオン首都圏において、送配水施設、配水網、給水施設を整備・拡充することにより、首都圏における上水道普及率の向上、無収水率の低減を図り、地域住民の生活環境改善に寄与することを目的とする。

### 本事業実施による効果(有効性・インパクト) [a]

本事業実施により、当初計画値上水道普及率83%、無収水率28%に対し、2005年実績では上水道普及率80%、無収水率45%であったことが確認されている。受益者調査では、1年を通じて安定的に上水道サービスを受けることが可能になったとの意見が寄せられている。これは本事業実施により、安定的な水供給を行ううえで阻害要因となっていた水圧不足の問題が解消されたためであると判断される。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

### 本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) [a]

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画等と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。事後評価時点では、パラグアイにおける国家開発計画のなかで、上下水道の整備は優先度の高い公共投資分野と位置付けられており、また、2015年までの戦略開発計画では水問題が重要な政策課題として掲げられている。

### 事業実施の経済性(効率性) [b]

本事業は、事業費が計画を下回ったものの(計画比70%)、期間については計画を上回ったため(計画比130%)、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延の要因としては、国会承認の手続きが遅れたことにより、用地取得に時間を要したこと、複数回にわたり計画変更が行われたこと等が挙げられる。事業費減少の主な要因としては、円の減価に伴うドル換算額の減少により、当初計画の一部工事が実施されなかったこと等が挙げられる。

### 今後の展望(持続性) [b]

本事業は実施機関が水道料金の決定権を付与されていない状態で独立採算を維持する必要があるうえ、今後、無収水率、対外債務の問題に対処することが求められるという厳しい経営環境にあるが、営業利益は確保されており、持続性は概ね問題ないと評価される。

### 結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は高いといえる。教訓としては、計画段階における適切な事業期間設定、為替変動に柔軟に対応することができる融資制度の構築が挙げられる。今後においては、実施機関により抜本的な無収水率引き下げ策、人口急増に対応した浄水場の能力拡張等の施策が講じられることが望まれる。



本事業において整備されたロマビタ排水センターの排水ポンプ

### 開発途上国専門家の意見

水道普及率低下の要因としては円のドルに対する減価や人口増等、無収水率増加の要因としては水道メーターの未整備等が挙げられる。実施機関では外部の知見を活用して事業実施能力強化のための施策が講じられている。

専門家の氏名： Mr. Cesar L. Cabello (学者)  
ペンシルバニア大学博士(農業経済)。現在、職業・能力開発大学院の  
研究員。アスンシオン・カトリック大学教授。専門は統計解析、経済等。